

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	三浦市における循環のみちの実現（第二期）													
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	三浦市													
計画の目標	三浦市の下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		43	A	43	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	神奈川県生活排水処理施設整備構想見直しに係るアクションプランを策定する。 アクションプラン策定率	0%	100%	100%
2	公共下水道（汚水）普及率を33.4%（H27）から33.6%（H32）に増加する。 公共下水道（汚水）普及率 処理区域内人口（人）/総人口（人）	33%	34%	34%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------



B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況						
												H28	H29	H30	H31	R02									
一体的に実施することにより期待される効果																									
備考																									
下水道事業	B07-001	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	管渠（	新設	下宮田飯森地区ほか汚水	延長L=0.08 k m 面積A=0.4	三浦市						0	-							
		汚水）							管（普及促進）	2ha															
	-																								
	「平成30年度から重点計画へ切り出した事業箇所の成果指標については、事後評価等を重点計画と一体的に実施する」																								
	B07-002	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	管渠（	新設	菊名当ヶ作地区ほか汚水	延長 L = 0.05 k m 面積 A=0	三浦市							0	-						
		汚水）							管（普及促進）	.06ha															
-																									
「平成30年度から重点計画へ切り出した事業箇所の成果指標については、事後評価等を重点計画と一体的に実施する」																									
											小計						0								
											合計						0								

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
三浦市上下水道部下水道課内での審議実施 学識経験者への意見聴取	令和5年3月
	公表の方法
	ホームページによる公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	【生活環境の改善および公共用水域の水質保全】 アクションプランの策定や汚水管の整備等により、生活環境の改善と公共用水域の水質保全及び公衆衛生の向上が図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
【生活環境の改善および公共用水域の水質保全】 アクションプラン策定により、未普及対策を進め、汚水処理施設整備の概成の進捗を図る。 下水道未整備箇所の整備を行い、更なる公共下水道（汚水）の普及率向上を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
アクションプランについては予定通り策定できたため、目標値を達成することができた。		
2	処理区域内人口（人） / 総人口（人）	
	最終目標値	34%
	最終実績値	34%
汚水管整備については普及率が達成できた。また、H30以降については重点計画へ事業を切り出したため、一体的に評価を行う。		







## 三浦市の社会資本総合整備計画に対する事後評価について

三浦市社会資本総合整備計画の事後評価について下記のとおり確認しました。

### 記

#### 1. 事後評価対象計画

社会資本整備総合交付金

「三浦市における循環のみちの実現（第二期）」（平成 28 年度～令和 2 年度）

「三浦市における循環のみちの実現（第二期）（重点計画）」（平成 30 年度～令和 2 年度）

防災・安全交付金

「三浦市の安心・安全な下水道事業」（平成 28 年度～令和 2 年度）

#### 2. 事後評価内容について

この度、三浦市で作成された社会資本総合整備計画は、実施後の計画の成果目標（定量的指標）、定量的指標の定義・算定式、交付対象事業の進捗状況、事業効果の発現状況及び目標値の達成状況について妥当な内容で示されていることを確認しました。

#### 3. 意見等

・普及率については計画通りに進捗しており、人口減少に伴う普及率の上昇がみられる。今後については、限られた予算の中でアクションプランに基づく未普及地域の解消を進めるために、引続き発生土利用の促進等による工事費の削減を行うとともに新工法等の採用を検討してみてはどうか。

・検討に時間を要したものの、令和 5 年度からはコンセッション方式の導入による事業運営の効率化が見込まれる点は評価できる。今後はモニタリングにより効率的な運営が実現できているかをよく確認していただきたい。

・ストックマネジメント計画に基づいて各施設の計画的な改築が行われている。今後も、コンセッション事業による民のノウハウの活用等により、効率的な計画策定や改築事業の実施を行い、安全な下水道の実現を図っていただきたい。

以上

令和 5 年 3 月 27 日

関東学院大学  
准教授

鎌田 素之